

# 令和7年度 3学期始業式式辞

## ～生徒たちに伝えたいこと～



新年あけましておめでとうございます。

今年は14日間という短い冬休みでしたが、だからこそ、目標を立て、計画的に過ごすには最適ではないか... という話を2学期の終業式にしましたが、どうですか。「なりたい自分」に近づくために何か行動できましたか？

校長先生はがんばりました。健康な体を取り戻すために一から体力作りに励むという話をしましたが、1日も休まずに頑張りが続けたことができました。でも、ジョギングをすれば足を痛め、筋トレをすればひどい筋肉痛に悩まされ、そういう意味では、躓くことや情けなく思うことが多い毎日でした。ですが、それでも14日間休まずやり抜いたことが大きな自信になっています。

今はまだ、「健康な体を取り戻した」と言えるような状態ではありませんが、忙しくなっても体力作りを続け、必ず目標を達成したいと思っていますし、きっとできると信じています。

さて、3学期の50日間は、今年度のまとめの期間であるのと同時に、来年度への助走期間でもあります。令和8年度を実りある1年にするためにも、この3学期は目標をもち、その実現のために粘り強く行動し続ける毎日にしてほしいと願っています。

そこで、「是非とも頑張っていたきたいこと」を学年ごとに述べていくので、目標を立てる上での参考にしてください。

まず、3年生のみなさんです。みなさんには、希望の進路を実現するため、誠実に受験に立ち向かっていただきたい。

受験に向けた取組は、不安や迷いと戦いです。きっと、様々な“辛さ”が襲いかかってきますが、決して逃げず、惑わされず、一直線に目標だけを見据

え、最後の最後まで粘ってください。

何度も言いますが、取り組めば取り組んだ分だけ“なりたい自分”に近づいていきます。必要なのは、「無理」とか「もう遅い」といった言い訳ではなく、行動することです。行動あるのみです。

みなさんが笑顔で卒業の日を迎えることを心から願っています。

次に2年生のみなさんです。みなさんには、伝統ある南中学校の頼もしいリーダーになるための準備を着実に進めていただきたい。

「頼もしさ」とは、信頼できる、期待できる、任せて安心できると、周囲に感じさせる力です。この力は、「守るべきことをしっかり守ること」や「やるべきことをきちんとやり抜くこと」など、当たり前を地道に積み重ねることで少しずつ身に付いていくものです。

令和8年度の南中がどんな学校になるか...それは3学期のみなさんの意識と行動にかかっているととっても過言ではありません。よろしく頼みますよ。

最後に1年生です。2学期の初め頃までは、小学生の雰囲気も残っていた1年生ですが、今や、全校が集まる場での立ち居振る舞いは、上級生と比べても遜色ないものになりました。とっても成長を感じます。だからこそ、授業でのあらわれや実力でも、上級生に負けないように成長していただきたい。

そのために大切にしたいのは、何度も言っていることですが「聴くこと」です。それも、何か別のことをしながら、ぼんやりと音を耳に入れる...ではなく、言葉や話の内容をしっかりと理解しようと、耳だけでなく目も心も傾け、前のめりになって本気で聴いてほしい。

集中して聴けるようになれば、分かることもできることもぐんと増えます。是非、聴き方を変え、自分を伸ばしてください。

全校のみなさんが、目標に向かい、ひたむきに行動し成長していく3学期になることを心から願い、始業式の式辞とします。